

投資者の皆様へ

2015年8月25日

SBIアセットマネジメント株式会社

弊社ファンドの基準価額の下落について

平素はSBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ(年2回決算型)／愛称:jrevive II(以下、「本ファンド」といいます。)をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。2015年8月24日に国内の株式市場が大きく下落したことを受けて、本ファンドの基準価額が下記の通り下落いたしましたので、その原因等についてご報告申し上げます。

1. 基準価額及び下落率(8月24日)

ファンド名称	基準価額 (円)	前日比 (円)	騰落率 (%)
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ(年2回決算型) ／愛称:jrevive II	9,384	▲756	▲7.46

2. 基準価額の主な下落要因及び今後の見通し

本ファンドの投資助言を受けておりますエンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社のコメントは以下の通りです。

24日の日本株式市場は前週末に引き続いて全般的に大きく調整し、この影響を受けて本ファンドの基準価額も▲7.46%下落しました。日本株式市場調整の背景には、①中国の景気減速を懸念して中国・上海株式市場を中心に世界的に株式市場が大幅に続落したこと、②米国の利上げ時期が先送りされるという観測から外国為替市場で円高・ドル安が進んだこと、などが考えられます。その結果、日経平均株価の終値は今年最大の下げ幅となる895円15銭安の18,540円68銭(前日比▲4.61%)で終了、新興株式市場も東証マザーズ指数が▲12.48%、ジャスダック指数も▲7.16%と大幅な調整となりました。

しかしながら、日本経済・企業を取り巻く環境については特に懸念される状況にはなく、組入企業の業績についても発表された3月期決算企業の第一四半期業績発表は想定通り・あるいは想定以上に推移していることを確認しているため、影響は一時的なものと思われます。従いまして、好調な企業業績を評価する冷静さを取り戻せば、ファンダメンタルズを反映した株価に戻ることが想定されます。今後も定期的な経営者との個別直接面談調査を通じ、足元の業績分析と中長期戦略について議論を深めながら、ベストなポートフォリオを維持してまいります。

以上、当社ではエンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社からの投資助言により、引き続き適時適切な運用を行うべく努力していく所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

以上

商号:SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会:一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ(年2回決算型) / 愛称:jrevive II

ファンドの費用

購入時手数料	購入申込金額に3.24%(税込)を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額とします。詳細は販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に対して0.3%を乗じて得た額を、ご換金(解約)時にご負担いただきます。
運用管理費用(信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に年1.8144%(税抜1.68%)を乗じて得た金額とします。なお、当該報酬は、毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。詳細は交付目論見書をご確認ください。
その他の費用及び手数料	ファンドの監査費用、有価証券売買時の売買手数料、信託事務の諸費用、目論見書・有価証券届出書・有価証券報告書・運用報告書作成などの開示資料の作成、印刷にかかる費用及びこれらに対する税金をファンドより間接的にご負担いただきます。監査費用を除き運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。
その他	※ 当該費用及び手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に依りて異なりますので、表示することができません。

ファンドにかかるリスクについて

【基準価額の変動要因】

本ファンドは、マザーファンドを通じて主に国内株式に投資を行います。株式等値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する中小型株式等の価格変動は、株式市場全体の平均に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。基準価額の変動要因は下記に限定されるものではありません。

<主な変動要因>

価格変動リスク

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、国内外の経済・政治情勢、市場環境・需給等を反映して変動します。本ファンドは株式の価格が変動した場合、基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。

流動性リスク

株式を売却あるいは取得しようとする際に、十分な流動性の下での取引を行えず、市場実勢から期待される価格で売買できない可能性があります。この場合、基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。

信用リスク

投資した企業や取引先等の経営・財務状況が悪化するまたは悪化が予想される場合等により、株式の価格が下落した場合には基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。

《投資信託ご購入の注意》

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。